【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第５区分
【発行日】平成23年3月31日(2011.3.31)

【公開番号】特開2009-191388(P2009-191388A)
【公開日】平成21年8月27日(2009.8.27)
【年通号数】公開・登録公報2009-034
【出願番号】特願2008-31511(P2008-31511)
【国際特許分類】
Ｄ２１Ｈ　19/46　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｄ２１Ｈ　19/46

【手続補正書】
【提出日】平成23年2月9日(2011.2.9)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
基紙と、当該基紙上に、顔料と接着剤を主成分とする少なくとも１層の塗工層を有する塗工紙であって、前記塗工層に、分岐脂肪酸塩を含有することを特徴とする塗工紙。
【請求項２】
前記基紙がサイズ剤で下塗り塗工されていることを特徴とする、請求項１に記載の塗工紙。
【請求項３】
前記顔料のうち、炭酸カルシウムが５０質量％以上を占めることを特徴とする、請求項１または２に記載の塗工紙。
【請求項４】
前記分岐脂肪酸塩の炭素数が１８以下であり、前記塗工層の塗工量が片面あたり１０ｇ／ｍ^{2}以下であることを特徴とする、請求項１～３いずれか１項に記載の塗工紙。
【請求項５】
前記分岐脂肪酸塩の含有量が、前記塗工層に含まれる全顔料１００質量部に対して０．０５～０．５０質量部であることを特徴とする、請求項１～４いずれか１項に記載の塗工紙。
【請求項６】
前記塗工層に、さらに酸化ポリエチレンを含有することを特徴とする、請求項１～５いずれか１項に記載の塗工紙。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１４】
好ましくは、前記基紙がサイズ剤で下塗り塗工されている。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１５

【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１７】
好ましくは、前記分岐脂肪酸塩の炭素数が１８以下であり、前記塗工層の塗工量が片面あたり１０ｇ／ｍ^{2}以下である。